コンサイス外来語辞典

第3版

コンサイス外来語辞典

第3版

三省堂編修所 編

三省堂

1972年 5 月 1 日　初版発行
1976年10月20日　第2版発行
1979年12月 1 日　第3版発行

コンサイス外来語辞典　第3版

定価 1,900 円

1979年12月 1 日　第1刷発行

編　者　三省堂編修所

発行者　株式会社 三省堂　代表者 上野久徳

印刷者　株式会社 三省堂 八王子工場

発行所　株式会社 三省堂
〒101 東京都千代田区三崎町二丁目22番14号
電 話　編 集　(03) 230-9411
販 売　(03) 230-9412
総 務　(03) 230-9511

振替口座　東京 6-54300

商標登録番号　377381

〈3版外来語・1,008 pp.〉

落丁本・乱丁本はお取替えいたします

第3版 はしがき

外来語辞典，あるいはそれに準じるものはすでに数種が世に行なわれている．それらの中にあって本書は，昭和47年の初版刊行以来7年余の間に，総合的かつハンディな「コンサイス外来語」として着実に一定の位置を占めるに至ったかと思われる．

この第3版のための改訂作業の中心は66頁，1,500語に及ぶ増補編の編修であった．新項目の多くは，いうまでもなく，ここ数年の間に現われた新語である．現代社会においては，あらゆる分野で頻繁に，新しい器具，新しい概念が作り出されており，その多くのものに外来語的名称が与えられる．また例えば，世相あるいは社会の風潮と深いかかわりを持つ流行語のように，その消長がきわめて短期間に行なわれるものもある．増補編の各項目の採用にあたっては，新聞・雑誌などに繰り返し現われる新しい外来語を，紙面の許す範囲で積極的に取り入れるという考え方に立ったが，状況は先に記した如くであるから，採録の適否は相応の時間が経過した後に判断されるべきかも知れぬ．

なお，今回の改訂では，便宜上，増補部分を巻末にまとめる形をとったが，本文の相当頁の下部に増補編の項目名を配して検索の便を図った．

今回も，初版，第2版に引き続き東京外国語大学教授 吉沢典男博士に編修主幹をお願いした．編修に際しては小島基次，守屋宏則，金沢美代子，高野真徳，中道真木男，福井千春の各氏から貴重な協力を頂いた．ここに記して謝意を表する．

こうして出来上がった第3版が読者諸賢の御期待に添うものであることを念願するとともに，今後なお一層，正確で有用な辞典として内容を充実させていくために，大方の御批判，御教示を仰ぎたい．

昭和54年(1979)9月

三省堂編修所

第2版はしがき

本書の初版を世に送って早くも4年の歳月が経過した．その間，この辞典が予想をはるかに上まわる多くの人々に愛用され好評を得たことは幸いであった．

外来語は時々の社会情勢を反映して，あるものは消え，あるものは加わり，その消長は一つの文化史を形成しているともいえる．消え去ったものもむろん多いが，その数倍もの外国語が外来語として日本語の語彙(ごい)の中に入り定着しつつある．

第2版では，初版の内容を吟味し，加筆・修正を施したのはもちろんであるが，さらに2,000余語に及ぶ新語・流行語を大幅にとり入れ，また新語義も必要に応じて追加し，より利用度を高めた．

今回も東京外国語大学教授 吉沢典男博士に編修主幹をお願いし，編修協力者として鳥居正文・長岡 襄・水木 宏・金丸健二・小沢悦夫・小島基次・鳥居くらら・鈴木順子・其部 昇の各氏が参加され，執筆は順調に進められた．ここに記して厚く謝意を表したい．

この辞典が引続き広く利用されることを願うとともに，読者諸賢からの暖かい御教示をお待ちする次第である．

昭和51年(1976) 8月

三省堂編修所

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbo

初版はしがき

小社が大正4年(1915)5月，上田萬年・高楠順次郎・白鳥庫吉・村上直次郎・金澤庄三郎共編の「日本外來語辭典」を出版して，すでに2世代60年近くの年月がたっている．この間の日本語の語彙(ごい)中における外来語は，大幅な変動を受け，また現に受けつつある．相当数が死語・古語となったが，それを数倍上まわる数が生まれ，日本語に定着した．

現行の国語辞典はいずれも，これらの外来語の収録・解説に力を入れているけれども，全ページをあげて外来語の解説にあてた手ごろな専門辞典が必要，という社の内外からの要求にこたえるべく，1960年代後半ないし70年代初めの観点から，あらためて現代国語中の外来語に焦点を合わせて編修されたものが本書である．

編修主幹には，東京外国語大学教授 吉沢典男博士をわずらわし，博士を助けて，水木 宏・金井由允・金丸健二・田中克彦・山口雄輔・若林一郎・森 圭弘・永瀬雄吉の各氏が原稿執筆・校正に参加され，編修は順調に進められた．

本書の特色のおもなものを挙げれば，

1. 地名・人名・作品名・商品名などの固有名詞を含む，約20,000語を収録した．特殊な専門語・職域語・時事語をのぞいて，現在用いられている外来語の大部分は検索できる，と考えられる．
2. アルファベットで略号式に表記されることが多いと思われるものは，巻末にまとめた．カタカナでも表記されるものは，本文からでも，この「アルファベット語」の部からでも，検索できるようにしてある．
3. 記述は正確・平明を第一とし，約束ごとは可能な限り少なくして，自明であることを心がけた．
4. 必要に応じて，原語(固有名詞を含む)の語源を示した．
5. ★印のあとに，その項目・その語義の関連・補充記述を行なった．
6. 固有名詞以外の一般語には，借入された時代を，各見出しごとに，語義が2つ以上あるときはその語義ごとに，明示した．
7. 理解を助けるために，数十のカットを挿入した．

本書がこのような姿で完成したのは，ひとえに吉沢博士，およびその編修陣のお力によるものであって，ここに厚く御礼を申し上げる．

なお，上に挙げた「日本外來語辭典」をはじめとする，数点の先行の外来語辞典，それに内外の国語辞典・百科事典は，本書にとって貴重な先達であった．同様に，新聞・雑誌・論文なども重要な情報源であったが，とりわけ，三宅 鴻教授の「英語から日本語に入った外来語(改訂版 1970 年)」は十分に参考にさせていただいた．特記して，謝意を表する次第である．

編修には，与えられた時間内で，可能な限りの努力をしたつもりであり，本書には新見解もいくつかあるが，しかし，所詮この種の辞書に完璧は望み得ない．見出し語の選択，その表記，原語の国籍・原つづり・語源，語義・用法，借入年代など，どれをとっても異論の出る余地がある．異説は，気がつく限り，またスペースの許す限り，収録したが，なお誤記・遺漏・脱落を恐れる．

われわれは，本書を少しでもより完全に近いものに育てて行く覚悟であるが，使用者各位の建設的なご助言とご指摘を，とくにお待ちしている次第である．

なお，原稿の整理・編修の段階では，
木本幸雄・鈴木達夫・関口洋子・橋本文子・西 良子・花田啓子・木田裕美子
江上良子・小沢悦夫・大黒重治・大平 昇・野村泰郎
の諸氏をわずらわしたことを謝する．

昭和 47 年 (1972) 2 月

三省堂編修所

使用上の注意

1. 見出し語

1.1 本書の書名にいう「外来語」とは，外国語から日本語に借り入れられ，日本語の語彙(ᵛ)として市民権を獲得した語をさす．さらに，英語の単語を2つ以上つないで，日本人が独自に作り上げた複合語のたぐい(いわゆる和製英語，たとえばテーブル-スピーチ)や，2つ以上の異なる外国語を結合して作った，いわゆる和製洋語(たとえばテーマ-ソング)を含んでいる．

1.2 見出し語は，カタカナの太字体活字を使用，五十音順に配列した．検索の便宜上，長音記号「ー」は無視して並べてある．ただし，「ー」を含まない同形の語がある場合には，「ー」を含まない語を先に配列した．たとえば**クロース**は**クロス**の直後にある．

1.3 清音・濁音・半濁音の順に配列した．**ハン バン パン** の順となる．

1.4 ウェストン祭，電子レンジ，関東ローム層 のような和語との複合語は，その含む外来語の見出しのもとに，追い込んで記述してある．ウェストン祭は**ウェストン**，電子レンジは**レンジ**，関東ローム層は**ローム**の項にある．

1.5 カタカナでは同一の表記になるが，原語の異なるものは，見出し語の右肩に [1] [2] [3] の数字を付けて，別見出しとした．**バス**[1] [bass] **バス**[2] [bath] **バス**[3] [bus] 配列は原語のアルファベット順，ただし固有名詞は他よりもあとに置いた．

1.6 原語が2つ以上の単語からなる複合語の場合，ハイフンの有無にかかわらず，見出し語には各要素を示すために，「-」を挿入した．ただし，原語がひとつづりのときは，この限りではない．

アイス-クリーム-サンデー [ice-cream sundae]

アイスフォール [icefall]

1.7 **ATC, NHK, VIP, X 線, BA レート, US ダラー**などは「アルファベット語」として巻末にまとめた．

2. 表記法

2.1 原則として，昭和29年3月国語審議会発表の「外来語の表記」によったが，現実に行なわれている有力な別表記も，とくにそれが離れた位置に配列される場合は，見出しとして収録した．

2.2 原音が二重母音である場合，カタカナ表記で，長音にするか，母音2つをもってするかは，現実の使用度を考慮して決定した．

メイ [May] **メーデー** [May Day]

決定しかねる場合は，できるだけ両形を示して，どちらからでも検索できるように心がけた．

2.3 促音「ッ」の挿入も，**2.2** と同様の配慮を行なった．

2.4 ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として，一般に -di-, -ti- などに -ディ-, -ティ- を当てるか，-ジ-, -チ- を当てるかは，それが外来語としてフレッシュなものか否かにもより，また個人差も考えなければならない．いずれか一方に決しかねるものは，できるだけ両形で検索可能のようにした．

3. 原 語

3.1 見出し語の直後に [ ] につつんで示した．

3.2 原語が ① 英語(アメリカ英語を含む)と ② 固有名詞と ③ 直前の原語国籍と同一である場合(**3.12** 参照)は，原則として，その原語国籍名の表示を省略した．ただし，少しでも疑問のおきそうな場合には，英 ド などと表示してある．

3. 3 原語名の中には，略語を用いたものもある．これらについては，**9. 略語表**を参照していただきたい．

3. 4 原つづりは，原則として，1種のみを挙げ，異つづりは省略した．

3. 5 ロシア語，ギリシア語などラテン文字を用いない言語は，ローマナイズして示した．ただし，長音の表示は，あえて省略した．

3. 6 中国語の場合は，ウェード式ローマ字つづりと漢字を示した．

ギョウザ [中 chiao tzu (餃子)]

3. 7 原つづり中，斜字体(イタリック)で示した部分は，それが見出しの外来語表記に直接あらわれない部分(または，逆にあらわれている部分，とくにアルファベット語の場合)である．斜体·立体の使い分けは，要するに，当該部分に注意を向けていただくための工夫にすぎない．

3. 8 日本で独自に作られた，いわゆる和製英語·和製洋語は，次のように示してある．

エスコート-ガイド [日<escort+guide (案内人)]

ラボ [日 <labo*ratory*]

テーマ-ミュージック [日<ド Thema+英 music]

3. 9 空見出しで，主項目を参照する場合，同一原語であれば，それを示すことは省略した．

ケビン⇨キャビン．

3. 10 短縮語で，その短縮形も原語にある場合は，原つづりを示した．日本語に入って独自に作られた短縮語は，**3. 8** のように示すか，または原語欄を一切省略した．

アンプ [amp]⇨アンプリファイア．

パーマ ⇨パーマネント-ウェーブ．

3. 11 原語における本来の語義を，(　　)につつんで示した場合がある．

グース [goose (がちょう)] 洋服店で用いられる重いアイロン．〈現〉★柄ががちょうの首に似ているところから．

3. 12 原語の語源を示した場合がある．この場合，究極の語源を示したものと，隣接の語源を示したものとがある．

グロッケンシュピール [ド Glockenspiel <Glocken (鐘)+Spiel (演奏)]

この例では，グロッケンシュピールはドイツ語 Glockenspiel が原語であって，この原語は同じくドイツ語 Glocken (鐘)と Spiel (演奏)の2語からなる複合語であることを示している．<以下の語が，前と同一国籍である場合，原語名の表示を省略した．

テレビジョン [television<ギ tele (遠く)+ラ vision (見るもの)]

この例では，テレビジョンの原語は英語の television で，これはギリシア語の tele (遠く)とラテン語 vision (見るもの)の2語からなることばであることを示している．

テトラポッド [tetrapod<ギ (4つの脚)]

これを敷延すれば，テトラポッドの原語は英語の tetrapod で，この英語はギリシア語の tetra (4つの)と同じく pod (脚)の2語からなっていることを示している．語形が直前の語(国籍を問わない)と同一，または極めて近似している場合は，原つづりを省略した．

カッター [cutter<cut (切る)+er (…の道具)]

この例では，カッターの原語は英語の cutter で，それは動詞 cut から生まれたものであることを示し，cut の語源はカットの項に挙げてある．

ディスポーザー [disposer<ラ disponere (処理する)]

この例では，本来は disposer<dispose<ラ disponere であるが，中間の dispose が外来語の見出しとして不要のため，ラテン語の disponere を語源とした．もし dispose の見出しがあるならば，次のようになるはずである．

ディスポーザー [disposer<dispose]

ディスポーズ [dispose<ラ disponere (処理する)]

3. 13 複合語のそれぞれの要素が独立見出しとしてある場合には，語源はそれぞれの独立見出し語にあるので

入れなかった.

3.14 原語あるいはその語源に定説のないもの,疑問のあるものには?を付けた.

オーケー [OK<?oll korrect=all correct (まちがいなし)] なお,この項目の★以下を参照していただきたい.

3.15 登録商標(商品名・会社名など)には,原語の前に㊟と表示した.

4. 語義

4.1 同一項目において,2つ以上の語義があり,それらが (a) 借入時代が異なるとき (b) 位相が異なるなど差違の大きなとき,①②③…の番号をそれぞれの文頭に付けた.

5. 位相

5.1 〖 〗中の表示は,それぞれの見出し語,または語義の専門分野を示す. ときには説明の補助的手段としても活用した.

5.2 用語は自明であることを心がけたが,若干の略語を用いたものもある. これらについては,**9. 略語表**を参照していただきたい.

6. 借入時代

6.1 その語・語義の借入時代を語義記述の末尾に〈 〉でつつんで示した. ただし,地名・人名・作品名などの固有名詞には,この表示は省略してある.

6.2 この部分に用いた略語は,**9. 略語表**を参照していただきたい.

7. 種々の記号

7.1 ↔ その語・語義の反対語・反対語義,あるいは対となる語・語義を,この矢印の次に示した.

語義区分 ①… ②… の前(つまり,原語欄の直後)に置かれた↔は,2つ以上ある語義のすべての対語であることを意味する.

7.2 ⇨ 「次の見出し語を見よ」の意味で用いた.

7.3 ★ その項目,その語義に関する補足説明を,この印の次で行なった.

7.4 ～ 追いこみ見出し中に,主項目の代用として用いた.

ソーダ
　苛性～ (=苛性ソーダ)
　～水 (=ソーダ水)
　～灰 (=ソーダ灰)

7.5 ～ 見出し語,またはその原つづりの代用に用いた.

なお,次のような使用例があるので,ご注意いただきたい.

ソフィスト [Sophist] の項で ② [s～] とあるのは,②の語義の場合,原つづりは sophist となることを示すもの.

パック [puck] の項で ② [P～] とあるのは,②の語義の場合,原つづりは Puck となることを示す.

8. 特殊な用語

8.1 「邦転」原語の発音から大幅になまって日本語に定着した語の場合,この用語を用いた. グー,プディングの項を参照していただきたい.

8.2 「邦略」日本語に入って独自に作られた短縮形・省略語をさす場合,この用語を用いた.

ラボラトリー [laboratory] をラボとするのは邦略であり,ラブ [lab] は英語における短縮形である.

パーマネント-ウェーブ [permanent wave] をパーマネント [permanent] とするのは,日・英共通の短縮形であり,パーマは邦略,英語でのもう1つの短縮形はパーム [perm] である.

マス-コミュニケーション [mass communication] をマスコミとするのは邦略であり,また,ビジネス-ガール [business girl] を BG とし,OB を old boy (同窓生)の意に用いるのは,それぞれ邦略である.

9. 略語表 (いずれも,自明なものは省略した)

9.1 借入年代
〈奈〉 奈良時代
〈平〉 平安時代

〈鎌〉 鎌倉時代
〈室〉 室町時代
〈安・桃〉 安土桃山時代
〈江〉 江戸時代
〈明〉 明治時代
〈大〉 大正時代
〈昭〉 昭和2—20年(太平洋戦争終了まで)
〈現〉 昭和21年以後

9.2 位相語の表示

〖医〗 医学
〖映〗 映画
〖化〗 化学
〖学生〗 学生用語
〖楽〗 音楽
〖機〗 機械
〖魚〗 魚類
〖経〗 経済学
〖劇〗 演劇
〖建〗 建築・建築学
〖拳〗 ボクシング
〖言〗 言語・言語学
〖工〗 工学
〖広〗 広告
〖写〗 写真
〖植〗 植物・植物学
〖心〗 心理学
〖数〗 数学
〖政〗 政治
〖生〗 生物・生物学
〖船〗 造船
〖俗〗 俗語
〖地〗 地質学
〖哲〗 哲学
〖天〗 天文学
〖電〗 電気
〖電算〗 電子計算機
〖動〗 動物・動物学
〖農〗 農業
〖バスケット〗 バスケットボール
〖バレー〗 バレーボール
〖美〗 美術
〖文〗 文学・文芸
〖服〗 服飾・繊維
〖法〗 法律・法学
〖放〗 放送
〖薬〗 薬品・薬学
〖理〗 物理学
〖陸上〗 陸上競技

9.3 原語の国籍

ｱ-イ アメリカ-インディアン語
イ イタリア語
英 英語(アメリカ英語を含む)
オ オランダ語
ギ ギリシア語
古英 古英語(400–1100年ごろ)
古高ド 古高地ドイツ語(800–1100年ごろ)
古ノ 古ノルド語
サ サンスクリット
ス スペイン語
中 中国語
中英 中英語(1100–1500年ごろ)
朝 朝鮮語
ト トルコ語
ド ドイツ語
ロ 和製英語・和製洋語
フ フランス語
ペ ペルシア語
ポ ポルトガル語
ラ ラテン語
ロ ロシア語

なお，古フ，中ドなどとあるのは，古フランス語，中ドイツ語などの略．

第3版への注意

欄外に掲げた項目は巻末の「増補編」を参照のこと．

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbo

ア

ア式蹴球(しゅうきゅう) ⇨アソシエーション-フットボール.

アイアイ [aye-aye (<鳴き声)] エビザル. マダガスカル島特産. リスザルとも. 〈昭〉

アイアコス [ギ Aiakos] ギリシア神話で, ゼウスと川の神の娘の子. アイギーナの王. 死後は冥府の鍵の守護神. ★英語ではイーアカス.

アイアン [iron (鉄)] 〖ゴルフ〗頭部が鉄製のクラブ (打棒). 1 番から 9 番までの 9 本とウェッジ, パターの総称. 番号順にシャフトが短く, またクラブ-フェースのロフト ② が大きくなり, 全体が徐々に重くなる. 〈明〉⇨ウッド①.

アイオリ [フ ailloli <古フ ai (にんにく)+oli (油)] オリーブ油入りのにんにくマヨネーズ. 〈明〉

アイオロス [ギ Aiolos] ギリシア神話で, 風の支配者. 海神ポセイドンの子.

アイオワ [Iowa] 米国中央北部の州. 州都デモイン. コーン-ステート [Corn State (トウモロコシ州)] の異名があるように農業生産高は米国一. ★インディアン語で「すばらしい土地」の意.

アイガー [ド Eiger] スイス中部, アルプスの高峰, 3975 m. ユングフラウ, メンヒとならんで俗にアルプス三山といわれる. ★1858 年英国人バリントンが初登頂. 大正 10 年 (1921), 槇有恒が北東稜を征服.

アイカップ [eyecup] ① 洗眼コップ. 硼酸(ほうさん)水などを入れ, 目にあてて洗眼する. 〈現〉 ② (顕微鏡・計測器などで) 漏光防止・目の保護のために接眼レンズ部につけるコップ状の付属品. 〈現〉

アイ-カメラ [eye-camera] 眼球運動記録装置. 眼球に光をあて, その反射光をフィルムに記録, 視線の動きを分析する. 〈現〉

アイ-キャッチャー [eye-catcher (人目をひくもの)] 〖広〗一目で特定の会社やその製品を連想させる広告宣伝用の絵や図柄. 〈現〉 ⇨キャッチフレーズ, トレード-キャラクター. ★beauty (美人), beast (動物), baby (赤ちゃん) の 3 B が効果ありとされる.

アイク [Ike] ⇨アイゼンハワー.

アイゲン [マンフレット ～, Manfred Eigen 1927–] 西独の化学者. 短いエネルギー-パルスによる平衡状態攪乱でもたらされる超高速化学反応の研究によって, 1967 年ノッシュ, ポーターとともにノーベル化学賞受賞.

アイコノクラズム [iconoclasm<ギ eikon (聖画像)+klasma (こわされたもの)] 偶像破壊. 因習打破. 〈昭〉

アイコノスコープ [iconoscope < ギ eikon (像)+英 scope (見るもの)] テレビ撮像管の 1 種. 像を点の集合に分解, その明暗を電流に変える. 性能はイメージ-オルシコンに劣るので, 現在はフィルム送像用. 〈昭〉 ★1933 年, 米国のツォリキンの発明.

アイシェード [eyeshade] 光線よけの目(め)びさし. サンシェードとも. 〈昭〉

アイ-シャドー [eye shadow (陰)] 目ぶたに陰影をつける化粧品. 青・黒・茶など各種の色がある. 〈昭〉

アイシング [icing] ① 自動車で気化器に氷の被覆が生ずること. 寒冷多湿のとき気化器が氷に閉ざされ不調に陥ること. 〈現〉 ② ケーキにつける糖衣. またはその材料. 〈現〉 ③ 〖アイス-ホッケー〗センター-ラインの手前から打ったパックが相手のゴール-ラインを越すこと. 打った側のスポットでフェース-オフされる. 〈現〉

アイジングラス [isinglass<中オ huiszenblas<huiszen (ちょうざめ)+blas (浮き袋)] にかわの 1 種. にべ. 魚の浮き袋から作る白色の高級品で, 高級料理・宝石接着剤用. 〈昭〉

アイス [ice (氷)] ① 冷やしたコーヒーやミルクなど. ↔ホット. 〈昭〉 ②〖俗〗高利貸. 〈明〉 ★アイス-キャンデーの訳「氷菓子」をもじって. ③ ⇨アイス-キャンデー, アイス-クリーム.

アイス-ウォーター [ice water] 氷片を入れた飲み水. (氷入りの)おひや. 〈昭〉 ★英語ではアイスト-ウォーター [iced water] とも.

アイスウォール [icewall] 〖登山〗氷壁. 氷雪におおわれた岩壁. 〈現〉

アイス-キャンデー [日<ice+candy] 氷

ア

菓子の1種．果汁やシロップを棒状その他の形に凍らせたもの．〈昭〉

アイス-キューブ [ice cube (立方体)] 立方体の氷片．〈現〉

アイスキュロス [ギ Aischylos 前525–前456] 古代ギリシアの悲劇作家．3大悲劇詩人のひとり．ギリシア悲劇を確立．作風は雄大・壮重．代表作「ペルシア人」「縛られたプロメティウス」「オレステイア」．エスキュロスとも．

アイス-クリーム [ice cream] 氷菓子の1つ．牛乳・砂糖・卵黄を混ぜ合わせて香料を加え，クリーム状に凍らせたもの．略してアイス，なまってアイスクリンとも．〈明〉 ★乳蛋白質15%，乳脂肪分8%以上を含有するものをさし，アイス-ミルク，ラクト-アイスなどと区別する．1550年ごろ，イタリアで考案されたのに始まるという．

アイス-クリーム-サンデー [ice-cream sundae] アイス-クリームにチョコレートや果汁をかけたもの．サンデーとも．〈昭〉

アイス-クリーム-ソーダ [ice-cream soda] アイス-クリーム入りのソーダ水．〈昭〉

アイス-クリーム-パフェ [ice-cream parfait] アイス-クリーム，生クリームに，チョコレートや甘く煮た果実を飾りつけに盛った菓子．〈昭〉 ⇨パフェ．

アイス-コーヒー [ice coffee] 氷を入れた冷やしコーヒー．↔ホット-コーヒー．〈大〉 ★英語ではアイスト-コーヒー [iced coffee] とも．大阪ではコール-コーヒーとも．

アイス-ショー [ice show] 氷上で行なう見せもの．スケーターによるダンス・劇・曲技などがある．〈現〉 ★米国の「ホリデイ-オン-アイス」一座が有名．同座の日本初演は昭和26年(1951)東京，後楽園．

アイス-スケート [ice skat*ing*] 氷上滑走．スケート靴をはいて氷の上をすべるスポーツ．スケートとも．↔ローラー-スケート．〈昭〉

アイス-スマック [ice smack (風味)] 薄いチョコレートで包んで筒状その他の形にしたアイス-クリーム．スマックとも．〈現〉

アイス-ダンシング [ice dancing] 〖スケート〗フィギュア競技の1種．男女が対になって氷上を音楽にあわせて踊るように滑る競技．〈現〉

アイス-ティー [ice tea] 氷で冷やした紅茶．〈大〉 ★英語ではアイスト-ティー [iced tea] とも．正式には氷を通すだけで，氷塊を加えない．

アイス-テクニック [ice-technique] 〖登山〗氷や固い雪の上を登り降りする技術．〈現〉

アイス-トング [ice tong*s*] 氷ばさみ．砕いた氷をつまむ器具．金属製が多い．〈現〉

アイスバイン [ドEisbein＜ラosischium (坐骨)] ドイツ料理の1つ．塩漬けにした豚の足の煮込料理．〈現〉

アイスハーケン [ドEishaken＜Eis (氷)＋Haken (くさび)] 〖登山〗氷壁を登り降りするために打ちこむくさび．略してハーケンとも．↔ロック-ハーケン．〈昭〉

アイスバーン [ドEisbahn (スケート場)＜Eis (氷)＋Bahn (道，表面)] 氷化した雪面．一度溶けたり，踏み固められたりした雪面が凍りついた状態．〈現〉

アイスハンマー [ドEishammer＜Eis (氷)＋Hammer (槌(つち))] 〖登山〗アイスハーケンを打つのに使う鉄製のハンマー．〈昭〉

アイス-ピック [ice pick] 氷を砕く錐(きり)．〈昭〉

アイスフォール [icefall (氷の滝)] 氷河の急傾斜の部分が，崩れ落ちる氷塊で滝のようになっている危険な場所．氷瀑．〈昭〉

アイス-ペール [ice pail (手おけ)] 砕いた氷を入れておくおけ状の容器．シャンペンやワインをびんごと冷やせる大型のものから，ウイスキーの水割などに使う砕氷を入れるための小型のものまで種々ある．〈現〉

アイスボックス [icebox (氷箱)] ① 氷を使って冷やす冷蔵庫．〈明〉 ★冷却装置付きの冷蔵庫や氷室はリフリジレーター [refrigerator] という． ② (とくに)携帯用の簡易冷蔵箱．〈現〉

アイス-ホッケー [ice hockey] 氷上ホッケー．スケート靴をはいて氷の上でするホッケー．1チーム6人．〈大〉 ★カナダの国技．英国やオランダで行なわれていたバンディ [bandy] という氷上球技から発達，1860年ごろカナダで近代ルールが作られ，75年モントリオールで正式ルールによる競技が初めて行なわれた．1908年，国際アイス-ホッケー連盟 (IIHF) 創立．大正10年(1921)ごろ日本でもチームが誕生．同13年，長野県の諏訪(すわ)湖で初の公式試合が行なわれた．

アイス-ミックス [ice-mix] 〖食品〗アイス-クリームの素．糖類，植物性脂肪，脱脂粉

乳などを主成分とした粉状のもの．これに牛乳を混ぜて冷凍庫で 1–2 時間冷やすとアイスクリームようの冷菓ができる．〈現〉★厳密には，乳脂肪分が少ないため，食品衛生法で定められたアイスクリームではない．

アイス-ミルク [ice milk] アイスクリーム状食品の 1 つ．〈現〉 ⇨アイスクリーム．★乳蛋白質10%以上，乳脂肪分 3%以上が必要．

アイスランド [Iceland (氷河の国)] 北極圏に近い北大西洋上の国．アイスランド共和国 [Republic of Iceland]．首都レイキャビク．1918 年デンマーク王を元首とする独立王国となり，1944 年デンマークから完全に独立．★国歌「おお神よ，君のみ名をばたたえん (O gud vors lands)」．公用語アイスランド語．通貨クローナ．アイスランドは英語名．現地名イースランド [Ísland]．

アイス-リンク [ice rink] (ローラー-スケート場に対して，人造氷の)スケート場．スケート-リンクとも．〈昭〉

アイゼナハ [Eisenach] 東ドイツ，チューリンゲン州にある工業都市．作曲家バッハの生地として知られ，古城バルトブルクも有名．
～綱領 1869 年，アイゼナハで出されたドイツの社会民主労働党 (のち社会民主党) の結成宣言．

アイゼン [ド *Steigeisen*] 鉄かんじき．登山靴の底につける滑りどめの金具．クランポンとも．〈昭〉★18 世紀末ごろから近代登山に利用されだした．

アイゼン

アイゼンシュタイン [ゴットホールト ～, Gotthold Eisenstein 1823–52] ドイツの数学者．整数論，関数論を究明，不変式論の真の創始者として知られる．

アイゼンハワー [ドワイト ～, Dwight David Eisenhower 1890–1969] 米国の軍人・政治家．第34代大統領(1953–61)．陸軍元帥(げん)．愛称アイク．

アイゼンハワー-ドクトリン [Eisenhower Doctrine (教義，信条)] アイゼンハワー大統領が，1957 年 1 月議会に送った中東問題に関する特別教書，およびその骨子となっている考え方．ソ連の侵略阻止・中東諸国に対する経済援助を主眼とする．

アイソスタシー [isostasy＜ギ isostasis＜isos (平等な)＋stasis (平衡)] 地殻均衡．地殻内部の構造を重力に関係づけて説明する理論．地殻はその下のより密度の高い層の上に浮いているようなもので，表面の高さの高いところほど，その下部の地殻も厚く，低いところの地殻は逆に薄いとする理論．〈明〉★G.B. エアリーの説 (1855 年) と，J.H. プラットの説 (1858 年) があるが，エアリー説のほうが合理的といわれる．

アイソタイプ [isotype] 視覚言語，絵文字言語．事物を文字・数字に代わって表わす象徴的図形や記号．地図・統計図表・標識などに用いられる．〈現〉 ★[*i*nternational *s*ystem of *t*ypographic *p*icture *e*ducation (印刷図形教育についての国際方式)] の略．1920 年代，ウィーンの哲学者ノイラートの創案．

アイソトープ [isotope＜ギ isos (同じ)＋topos(場所)] 同位元素．原子番号が同じで質量数の異なる元素．水素と重水素など．普通，放射能を持つラジオ-アイソトープ(放射性同位元素)をさす．天然と人工とがある．〈現〉★とくにアイソトープであることを示すときには，元素記号の肩に質量数を記入する．

アイソトープ-カメラ ⇨シンチレーション-カメラ．

アイソポス [ギ Aisopos] ⇨イソップ．

アイソレット [isolette] ⇨イソレット．

アイーダ [イ Aida] ベルディ作曲の歌劇．4 幕．1871 年カイロで初演．古代エジプトの将軍ラダメスと，エチオピア王女アイーダの恋愛悲劇．グランド-オペラの代表作．★本邦初演は大正 3 年 (1919)，ロシア大歌劇団(帝国劇場)．邦人初演，昭和 16 年 (1941)，藤原歌劇団(歌舞伎座)．

アイダの法則 ⇨AIDA の法則．

アイダホ [Idaho] 米国北西部の州．ロッキー山脈西側の鉱・林・農業地帯．州都ボイジー．★インディアン語の「日が昇る」と「起きる時間だ」から．

アイデア ⇨アイディア．

アイディア [idea ＜ギ idea (形)] ① 考え，意見．〈明〉 ② 【文】構想，着想．〈明〉 ③ (とくに，新奇な)思いつき．〈昭〉 ④ ⇨イデー．

アイディアリスト [idealist] ① 【哲】観念論者．〈明〉 ② 理想家，理想主義者．〈明〉

ア

アイディアリズム [idealism] ①〖哲〗観念論.〈明〉 ② 理想主義.〈明〉

アイディアル [ideal] 理想的な, 空想的な, 典型的な.〈明〉

アイディル [idyll<ギ eidullion (小さな絵)] ①〖文〗田園詩, 牧歌, 田園文学.〈大〉 ②〖楽〗田園曲, 牧歌的な情景.〈大〉 ⇨パストラル.

アイテム [item (項目, 細目)]〖電算〗磁気テープに記録されている1件分のデータ.〈現〉

アイデンティティー [identity<identify (身元を確認する)<ラ idem (同じ)] 身元, 正体, 自己.〈現〉 ★自己喪失が問題となるとき,「アイデンティティーを見失う」というように使われる.

アイデンティファイ [identify<中ラ identicus<idem (同じ)] 同一視する, 同一物だと感ずる.〈昭〉

アイデンティフィケーション [identification] ① 同一視すること. 同一物だと感ずること.〈昭〉 ② 広告表現に一貫性, あるいは統一性をもたせること. 種々の刊行物・放送を通して行なわれる広告の相乗効果を高めるための方法.〈現〉

アイドカの法則 ⇨AIDCA の法則.

アイトス ⇨ITOS (米国の実用気象衛星計画).

アイドフォア [eidphore] ⇨アイドホール.

アイドホール [ド Eidophor <ギ eidos (形)+pherein (運ぶ)] テレビ画面の拡大投射装置. 1939 年ごろ, スイス人フリッツ-フィッシャーが考案. アイドフォアとも.〈現〉

アイドマの法則 ⇨AIDMA の法則.

アイドリング [idling] ① (機械類の)空転, 遊転.〈現〉 ② とくに自動車でエンジンの遊転.〈昭〉 ★回転数調整の基準となる.

アイドル [idol<ギ eidolon (像)] ① 偶像. 崇拝される人, または物.〈明〉 ② 人気者.〈明〉

アイドル-システム [idle (仕事のない, 遊んでいる) system]〖経〗不況あるいは受注低下時の切りぬけ策の1つ. 操業や労働時間の短縮によって, 人員整理を避ける代りに, 賃金をさげること.〈現〉 ★[idle<古英 idel (空虚)].

アイドル-ボール [idle ball]〖庭球〗不用の球.〈昭〉

アイヌ [Ainu<アイヌ(人<男)] 東アジアの古種族の1つ. 北海道やカラフトに居住. 一説に日本列島の先住民族だったという. 昔は蝦夷(えぞ)あるいは夷(えびす)と呼ばれた.〈江〉

アイネイアス [ギ Aineias] ギリシア伝説の英雄. ベルギリウスの叙事詩アエネイスに登場. アエネアスとも.

アイバク [クトゥブ-ウッディン ～, Qutb-ud-din Aibak ?–1210] インド最初のイスラム教王国(マムルーク朝)の創始者.

アイ-バンク [eye bank] 眼球銀行. 献眼者を予約登録し, 死後その眼球を保存, 角膜移植を希望する盲人にあっせん供給する機関.〈現〉 ★角膜移植術は 1924 年ソ連で初めて成功. 1945 年インターナショナル-アイ-バンクの本部をワシントンに開設, わが国では昭和 33 年 (1958) 角膜移植法制定.

アイバンホー [Ivanhoe] 英国の作家スコットの歴史小説. 1820 年刊. 中世の獅子(じし)心王リチャード, 騎士アイバンホー, ロビン-フッドとユダヤ美人レベッカをめぐる恋と武勇の物語. ★本邦初訳, 明治 43 年 (1910), 小原無絃(東西出版社).

アイビー-スタイル [日<ivy+style] 若い男性向きの服の型. 直線的な外観の背広でウエストはしぼらず, 肩あてもあまり入れない. 上着はせまいえり, 3つボタン, ズボンも細く, 靴は無地.〈現〉 ★アイビーリーグに属する大学生の好みから生まれた流行.

アイビー-ホールド [ivy fold] ⇨バッフドースタイル.

アイビー-リーグ [Ivy League] 米国東部の名門大学ハーバードやエールなどを含むフットボールの競技リーグの名.〈昭〉 ★[ivy (ツタカズラ)] は名門大学の象徴.

アイビー-ルック [日<ivy+look] ⇨アイビー-スタイル.

アイブロー-ペンシル [eyebrow pencil] まゆ鉛筆. まゆ毛を描く鉛筆型のまゆ墨.〈現〉

アイヘンドルフ [ヨーゼフ-フォン ～, Joseph von Eichendorff 1788–1857] ドイツの詩人・小説家. ドイツ人の心のふるさとを歌いあげた愛と郷愁の詩人. 代表作「愉(たの)しい放浪児」

アイボリー [ivory<古フ ivoire<ラ eboreus (象牙(ぞうげ)のような)] ① 象牙.〈明〉 ② ⇨アイボリー-ホワイト, アイボリー-ペーパー.

アイボリー--ブラック [ivory black] 絵の具の1つ. 象牙(ぞうげ)黒. 象牙を焼いて作る黒色. 〈昭〉

アイボリー--ペーパー [ivory paper] 象牙(ぞうげ)色でつやのある厚手の洋紙. 略してアイボリー. 〈大〉

アイボリー--ホワイト [ivory white] 象牙のような乳白色. 略してアイボリー. 〈現〉

アイモ [㊥ Eyemo] 携帯用の35ミリ映画撮影機. 米国のベル-アンド-ハウエル社の製品. 小型で操作も簡単なので, ニュース映画の撮影に用いられる. 〈昭〉

アイユ [フ ail] にんにく. 〈明〉

アイライナー [eyeliner] 化粧料の1つ. アイラインをつけるための液状のまゆ墨. 〈現〉

アイライン [eyeline] 目張り. 目を大きくみせる化粧法の1つで, 上下のまつ毛の生えぎわに, アイライナーで書く線. 〈現〉

アイラッシュ-カーラー [eyelash (まつ毛) curler] まつ毛をカールさせる化粧用具. 〈現〉

アイランド-カー [island (島) car] 交通整理のための特殊自動車. 交差点の中央に止めて監視所も兼ねる. 〈現〉

アイランド-キチン [island kitchen] あらゆる部屋に通じるほぼ中央の位置に設置した台所. 〈現〉

アイリス [iris<ギ Iris (虹の女神)] ① 〖植〗アヤメ科の植物の総称, とくに球根性の栽培種をさす. 〈明〉 ② 眼球の虹彩(こうさい). 眼球の角膜と水晶体との間にある円盤状の膜. 〈明〉 ③ 写真機のレンズの絞り. 〈大〉

アイリス-アウト [iris out] 〖映画・テレビ〗画面を中心部にむかってまわりから絞り消していく手法. ↔アイリス-イン. 〈大〉

アイリス-イン [iris in] 〖映画・テレビ〗画面の中心部からまわりにむかって画面全体をみせていく手法. ↔アイリス-アウト. 〈大〉

アイリッシュ-ウルフハウンド [Irish wolfhound] 犬の1品種. アイルランド種のウルフハウンド. 〈昭〉 ★犬の中でもっとも丈が高く, オオカミ狩りに使われる.

アイリッシュ-コーヒー [Irish coffee] アイルランドふうコーヒー. 強いりコーヒーを砂糖を入れたグラスに注ぎ, 少量のウイスキーを入れ, 生クリームを浮かべる. 〈現〉

アイリッシュ-シチュー [Irish stew] 羊肉のシチュー. ジャガイモ・玉ねぎと羊肉で作ったアイルランド風煮込み. 〈明〉

アイルランド [Ireland<古英 Iraland (アイルランド人の島)] ① 英本国グレート-ブリテン島の西にある島. 英領の北部アイルランドと, アイルランド共和国に分かれる. ② アイルランド島の北東部を除く大部分を占める国. アイルランド共和国 [Republic of Ireland]. 首都ダブリン. 長く英国領だったが, 1920年自治領となり, 37年完全に独立. 住民はケルト族. ★一時エール, アイレとも称した. 公用語アイルランド語. 通貨ポンド.

アイレット [eyelet] ① 刺しゅう式のかがり穴. 〈昭〉 ② ひも穴, はと目. 〈昭〉

アイレーネー [Irene] ⇨イレネー.

アイ-ローション [eye lotion] 美容のための洗眼液. 〈現〉

アイロタイシン [㊥ Ilotycin] ⇨エリスロマイシン.

アイロニー [irony<ラ ironia<ギ eiron (しらばくれる人)] ① ソクラテスの用いた問答法. 対象について誤ったことをいい, これを承認するようにみせかけながら, 反対の真実を明らかにする論法. 〈明〉 ② (転じて)反語. 皮肉, あてこすり. イロニーとも. 〈明〉

アイロニカル [ironical < irony (皮肉)] 皮肉な, 反語的な. 〈大〉

アイロン [日<iron (鉄, 鉄製の器具)<古英 iren] ① 洋式の火のし. 普通は「電気アイロン」を示す. 〈明〉 ② 髪をちぢらせるのに使うはさみ形のこて. 〈明〉

アインシュタイニウム [einsteinium] 人工放射性元素の1つ. 原子番号99. 記号 Es. アインスタイニウムとも. ★物理学者アインシュタイン②の名にちなむ. 1952年, 米国の水爆実験の灰から発見.

アインシュタイン [Einstein] ① [アルフレッド ～, Alfred ～ 1880–1952] ドイツ生れの米国の音楽学者. リーマン音楽事典の刊行で知られる. ② [アルベルト ～, Albert ～ 1879–1955] 米国の理論物理学者. ユダヤ系ドイツ人, ナチに追われて米国に帰化. 相対性理論で従来の宇宙観に根本的変革を与え現代物理学の基礎を築いた. 1921年ノーベル物理学賞受賞.

～賞 アインシュタイン②の功績を記念して, 米国のイェシーバー [Yeshiva] 大学から毎年出される賞. 〈現〉

アイントホーフェン [ウィレム ～, Willem

Einthoven 1860–1927] オランダの医学者. ライデン大学生理学教授. 心電計を発明, 心臓病診断に貢献. 1924 年, ノーベル生理・医学賞受賞.

アウアー [カール ～, Carl Auer von Welsbach 1858–1929] オーストリアの化学者・発明家. マントルによるガス灯, ライターの発火石などを発明.

アウエンブルッガー [レオポルト ～, Leopold Auenbrugger 1722–1809] オーストリアの医学者. 胸部打診法の創始者. ★父がぶどう酒の樽(たる)をたたいて量を測っているのにヒントを得たという.

アウグスチヌス [アウレリウス ～, ラ Aurelius Augustinus 354–430] 古代ローマ末期のキリスト教の初代教父・神学者. 神は人格であり真理のすべてであるとする三位一体論を唱え, 後世に影響を与えた. 主著「神国論」「告白」 ★英語ではオーガスティン.

アウグスチノ会 [Augustinian—] 11 世紀末に発足したカトリック修道団体の 1 つ. 会則をアウグスチヌスの戒律に求める 7 つの修道会の総称. 1602 年この一派のアウグスチノ隠修(しゅう)士会が来日, 現在も長崎を根拠地に伝道を行なっている. 〈江〉

アウグスツス [ラ Augustus (尊厳者) 前 63–後 14] ローマ帝国の初代皇帝(前 27 年即位). 即位前の名は, オクタビアヌス [ガイウス ～, Gaius Julius Caesar Octavianus]. カエサルの死後遺言で養子となり, 競争相手を制して勝利者となる. 皇帝となってからは内政の充実をはかり, 平和と繁栄の基礎を築き, ローマ文化の黄金時代を現出. ★アウグスツスは元老院から贈られた尊称. 月名 8 月 [August] は, 彼の名にちなむ.

アウグストゥス ⇨アウグスツス.

アウグスブルク [Augsburg＜Augustus (アウグスツス)＋ドBurg (城)] 西ドイツの商工業都市. ローマ時代から交通の要地として栄えた. ★アウグスツスがここに城を築いたところから.

～の宗教和議 1555 年 9 月, ドイツの新旧キリスト教派の間に結ばれた宗教上の和解協定.

アウシュビッツ [ドAuschwitz] ポーランド南部の小商工業都市. 第 2 次大戦中, ナチス-ドイツの重労働収容所と医学実験所が作られ, 捕虜とユダヤ人・ポーランド人の大量殺人が行われた. 戦後, 収容所は博物館となっている. ★ポーランド語では, オシウィエンチム.

アウス [日＜ドausk*ratzen*＜aus (外へ)＋kratzen (ひっ掻く)] (子宮からの)掻き出し. 妊娠中絶. 〈現〉

アウステルリッツの戦い [Austerlitz—] チェコスロバキア中央部のモラビア州アウステルリッツで, 1805 年ナポレオン (1 世) 軍がロシア (アレクサンドル 1 世)・オーストリア(フランツ 1 世) 連合軍に大勝した戦争. 三帝会戦とも.

アウストラロピテクス [ラ Australopithecus (南の人類)] 南アフリカで発見された百万年前の化石人類. 類人猿的な特徴をもつが, 直立歩行したという点で人類に近い. サルと人類の進化の輪をつなぐ, いわゆる「失われた環」を示すものとして注目される. 〈昭〉 ★1934 年, ダートの発見.

アウストロアジア語 [Austroasia*tic languages*] インドシナ半島中南部からインド東部および中部にわたって点在する諸言語のグループ. ムンダ-モン-クメール語とも.

アウストロネシア語 [Austronesia*tic languages*] オーストラリア, ニューギニア, タスマニアを除く南太平洋の島々に分布する諸言語のグループ. マライ-ポリネシア語族とも.

アウセンラーゲ [ドAussenlage] 〖スキー〗外傾姿勢. 上体が谷に傾いた状態. 〈昭〉 ⇨アンギュレーション.

アウタルキー [ドAutarkie (自給自足)＜ギautarkeia (自律)] 自給自足の経済. 他国に依存しないことをたてまえとする経済自立政策. 〈大〉

アウティング [outing (外出, 遠足)] 軽快な外出着. 〈現〉

アウト [out] ① そと. 外方. ↔イン. 〈明〉 ② 庭球・卓球などで, 打ったボールがコート外に出て失点となること. 〈明〉 ③ 〖野球〗打者や走者が失格すること. ↔セーフ. 〈明〉 ④ 〖ゴルフ〗18 ホールズ中, 前半の 9 ホールズ. ↔イン. 〈昭〉

アウト-ウェア [日＜out＋wear] 上着の総称. カーディガン, コート, スーツ, セーターなど. 〈現〉

アウト-エッジ ⇨アウトサイド-エッジ.

アウト-オブ-バウンズ [out-of-bounds] ① 〖バレー, バスケットなど〗ボールまたは競技者が場外に出ること. 反則の 1 種. 〈大〉

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbo